

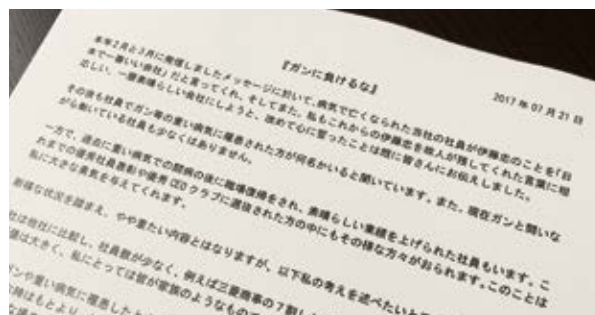
「がんとの両立支援策」

現在、日本では生涯で2人に1人ががん罹患するといわれています。当社でもがんと闘病しながら働く社員や、がんで亡くなる社員も少なくありません。今回、従来の施策を見直し、「社員をがんにさせない」「がんになっても絶望させない、辞めさせない」「皆で支える」という観点に基づき、以下3つの両立支援施策を中心に推進しています。

- ① 予防・早期発見・治療をサポートする体制強化
- ② 安心して相談・情報共有できる環境整備
- ③ 治療をしながら働き続け、活躍できる社内体制・制度の整備

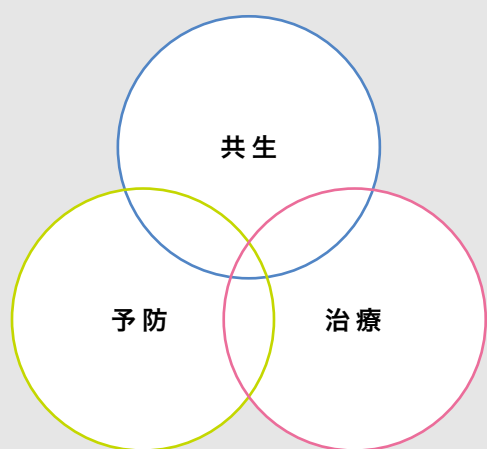
単に労働生産性の向上を追求するのではなく、「働き方改革」の諸施策と並行して病気の有無を問わず社員一人ひとりが持続してやる気ややりがいを持ち、安心して思う存分

働き続けることのできる環境を作ることが、非常に重要であると考えています。がんと闘う社員を周りで支えることを通じた組織力強化を通じて、「厳しくとも働き甲斐のある会社。日本一強く良い会社」を目指していきます。



当時社長の岡田が全社員に宛てたメッセージ。がんと闘病した社員からのメッセージが「がんとの両立支援策」導入のきっかけになったことを説明している。

「がんとの両立支援」のポイント



共生 がんとの両立支援体制構築

社内の相談窓口を担う両立支援コーディネーターを配置
(主治医、社内の保健師や産業医、職場のメンバーとの連携強化)

将来の不安軽減

残された子女の大学院卒業までの教育費補助拡充
子女・配偶者の就労支援

予防 民間企業初となる国立がん研究センターとの提携

がん発見に特化した専門医の「がん特別健診」

治療 国立がん研究センターとの提携の一環として

専門医による即時連携・最先端治療
がん先進医療費の会社負担

労働生産性強化の成果

健康経営及び働き方改革 受賞歴

2016年度	健康経営銘柄2017(経済産業省・東京証券取引所)
	働きやすく生産性の高い企業 奨励賞(厚生労働省)
	攻めのIT経営銘柄2017 IT経営注目企業 (経済産業省・東京証券取引所)
2017年度	ベストプラクティス企業(東京労働局)
	均等・両立推進企業表彰 厚生労働大臣優良賞 ファミリー・フレンドリー企業部門
	がん対策推進企業アクション がん対策推進企業表彰 厚生労働大臣賞
	がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行う 企業表彰 優良賞(東京都)

単体従業員数と連結純利益の推移

